

講 義 要 項

授業科目		地域・在宅看護論援助論Ⅱ		担当者	畑中 勇二	
区 分	単位数	時間数	授 業 形 態		履修年次・前／後	
	1 単位	30 時間	講義・演習		2年次・後期	
授 業 目 標						
基本的な看護技術を応用し、生活状況や個人のニーズに応じた援助方法を、創意工夫して提供する看護の実際を解釈できる。						
単元名	目 標	内 容		時間	単位	授業方法
1. 日常生活を支える基本的な技術	日常生活を総合的にとらえ、動作分析をもとに必要な援助を見極める方法について解釈できる。	1. コミュニケーション 2. フィジカルアセスメント 3. 生活リハビリテーション 4. 感染予防 5. 環境整備 6. エンドオブライフケア		6		講義
2. 在宅での日常生活援助	在宅で求められる日常生活援助技術を学び、療養者・家族の状態や状況に応じた看護実践方法について理解できる。	1. 日常生活におけるケアの実際 1) 呼吸 2) 食生活・嚥下 3) 排泄 4) 移動・移乗 5) 清潔 6) 睡眠 2. 社会資源の活用と調整		5		講義 演習
3. 医療処置・医療管理を必要とする療養者の看護	在宅における医療処置・医療管理の実際を学び、必要とされる看護について説明できる。	1. 医療ケアの原理原則 2. 褥瘡予防とケア 3. 輸液管理 1) 在宅中心静脈栄養法 2) 末梢静脈栄養法 4. 在宅人工呼吸療法 1) 非侵襲的陽圧人工呼吸 (NPPV) 2) 気管切開下陽圧人工呼吸 (TPPV) 5. 在宅酸素療法 6. 自己導尿 7. 薬物療法 8. 疼痛管理		18		講義 演習
		修得試験		1	1	
参 考 文 献 等	1. 系統看護学講座 専門分野 地域・在宅看護論 (2) 地域・在宅看護の実際, 医学書院.					
評 価	1. 単位修得試験					
備 考	実務経験：訪問看護師としての豊富な知識・経験をもとに授業を行う。					